

平成 27 年 4 月 15 日

各 位

会社名 東京電力株式会社  
代表者名 代表執行役社長 廣瀬 直己  
(コード番号：9501 東証第1部)

会社名 中部電力株式会社  
代表者名 代表取締役社長 水野 明久  
(コード番号：9502 東証第1部, 名証第1部)

「株式会社 J E R A」(呼称：ジェラ) の設立について  
～世界で戦うグローバルなエネルギー企業を目指して～

東京電力株式会社(代表執行役社長：廣瀬直己, 以下「東京電力」)と中部電力株式会社(代表取締役社長：水野明久, 以下「中部電力」)は、平成 27 年 2 月 9 日に締結した合弁契約に基づき、燃料上流・調達から発電までのサプライチェーン全体に係る包括的アライアンスを実施する新会社の設立に向けた準備を進めてまいりましたが、本日、「株式会社 J E R A」(以下、「J E R A」)を 4 月 30 日に設立することを両社で決定いたしました。

国際競争力あるエネルギーの安定的な供給は日本のエネルギー事業者の使命であり、世界的な資源獲得競争が激化する中で日本のエネルギー事業者が当該使命を遂行するためには、世界で戦うグローバルなエネルギー企業の創出が不可欠との認識のもと、両社は J E R A を設立いたしました。今後は、J E R A の事業活動の展開を通じて、国際競争力ある電力・ガス等のエネルギー供給を安定的に行い、両社グループの企業価値を向上させてまいります。

両社は今後、効果が高くかつ進めやすい分野からアライアンスを進めていくこととしており、J E R A は設立時から、新規の燃料調達・燃料関連事業に加え、国内火力発電所の新設・リプレース、新規の海外発電事業などを対象に事業を開始いたします。

その後、必要な関係者との協議や東京電力の HDカンパニー制の導入状況などを踏まえ、平成 28 年夏頃には、両社の既存の燃料事業・調達契約や既存の海外発電事業など、今回のアライアンスの協議対象の全事業を J E R A へ統合し、J E R A の事業領域や規模を拡大するとともにバリューチェーンの最適化を追求してまいります。

包括的アライアンスに向けた両社の既存火力発電事業・関連資産に関する新会社への統合については、東京電力の経営改革の進展による自律的な経営体制の確立のスケジュールを踏まえつつ、本件アライアンスの成果を確認した上で、平成 29 年春頃に判断することを目標に、検討を継続してまいります。

以 上

別紙：J E R A の概要について

[問合せ先]

東京電力株式会社 総務部  
株式会社グループマネージャー 砂盛 京子 (TEL. 03-6373-1111)

中部電力株式会社 経営戦略本部  
アライアンス推進グループ長 奥田 久栄 (TEL. 052-951-8211)

J E R Aの概要について

1. J E R Aの概要（設立時点）

会社名	株式会社 <sup>ジ エ ラ</sup> J E R A（JERA Co., Inc.）
代表者	代表取締役会長 <sup>ないとう よしひろ</sup> 内藤 義博（常勤） 代表取締役社長 <sup>かきみ ゆうじ</sup> 垣見 祐二（常勤）
事業内容	新規の燃料上流事業開発・燃料調達事業 国内火力発電所の新設・リプレース事業 新規の海外発電事業開発
設立日	平成 27 年 4 月 30 日
出資金（資本金）	9.6 億円（4.8 億円）
出資比率	東京電力 50%※，中部電力 50%
所在地	東京都中央区日本橋

※東京電力は，東京電力燃料・火力発電事業分割準備株式会社を通じて出資予定

2. 事業拡大に向けたロードマップ

平成 27 年 10 月 1 日 （目途）	J E R Aに燃料輸送事業，燃料トレーディング事業を統合
平成 27 年末頃	J E R Aに既存燃料事業（上流事業，調達事業，受入・貯蔵・送ガス事業等）や既存海外発電・エネルギーインフラ事業を統合する契約を締結
平成 28 年夏頃	J E R Aに上記事業を統合
平成 29 年春頃	J E R Aへ既存火力発電事業の統合に係る判断（目標）

3. J E R Aの基本理念

両社は，J E R Aの事業活動の展開を通じ，国際競争力あるエネルギーの安定供給を通じた我が国の産業競争力の強化への貢献等といった公益的使命の達成と，両社グループの企業価値向上を目的として，以下の基本理念のもと，本件アライアンスを行います。

- （1）国際エネルギー市場で競合他社と互角に戦うことができるグローバルなエネルギー企業体を創出することにより，消費者に対する国際競争力ある電力・ガス等のエネルギーの供給を安定的に行うとともに，対等・互譲の精神の下，中部電力グループ及び東京電力グループ双方の企業価値を向上させること
- （2）両社が最高水準の技術，人，設備等の経営資源を持ち寄ることにより新たなエネルギー事業モデルを構築するとともに，J E R Aは，独立した企業文化と市場から信任される強く健全な経営・財務体質を有し，自律的な事業運営及び迅速な意思決定が可能な経営体制が確保されたものとする
- （3）燃料上流・調達から発電に至るまでのバリューチェーン全体を一体的かつ最適にマネジメントすることにより，事業全体での効率を高め，競争力向上，利益追求を図ること